

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 10

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input checked="" type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	社会福祉施設整備事業(障害福祉サービス事業所)	担当部署	障害福祉サービス事業所			
総合計画上の位置付け	安心-おもいやりに満ちた福祉社会を築く-障がい者が自立しやすい環境をつくる-社会的自立の推進					▼
対象	施設利用者及び家族					
手段(方法)	施設の老朽箇所等の修繕並びに、備品の更新を実施する。					
手法(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	老朽箇所等の修繕及び備品の更新を実施する事により、安全性を高め支援環境の向上を図る。					
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	障害者総合支援法					
その他実施の根拠						
始期・終期	年度	～	年度			
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	施設の安全性を高め、支援環境の向上を目的とする。					
単年度目標(達成状況)	29年度実績	老朽箇所の修繕及び備品の更新を実施した。			達成状況	100 %
	30年度実績	老朽箇所の修繕及び備品の更新を実施した。			達成状況	100 %
	元年度計画	老朽化した備品の更新を実施する事により、安全性を高める。			達成状況	- %
	元年度実績	老朽化した備品の更新を実施した。			達成状況	100 %
	2年度計画	老朽箇所の修繕を実施する事により、安全性を高める。			達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
老朽箇所修繕・備品の更新		1	1			
備品の更新				1	1	
老朽箇所修繕						1
直接事業費 単位:円		29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
		5,865,922	1,503,468	700,000	669,600	4,800,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債					4,300,000
	その他					500,000
	一般財源	5,865,922	1,503,468	700,000	669,600	
直接事業費 総額		5,865,922	1,503,468	700,000	669,600	4,800,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	2	2	2	2	2
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費 総額		38,000	38,000	38,000	38,000	38,000
総事業費 計		5,903,922	1,541,468	738,000	707,600	4,838,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	元年度については、備品の更新のみである為事業費が減少している。				
	元年度予算と2年度予算の比較	2年度については、比較的規模の大きい箇所の修繕である為、事業費が増加している。				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	施設の老朽化に対して、適切な修繕及び設備等の更新を計画的に実施する。
市民のニーズ・満足度	設備の更新により、安心してサービス利用が出来る環境を整える事が出来た。
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="3"/> <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input checked="" type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄 市直営施設の修繕である為、行政職員が行う事が適当である。 <input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text"/> <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄 適切な修繕を計画的に実施し、トータルコストの削減に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
執行体制の効率性	目標達成度 <input type="text" value="100"/> % 理由等所見欄 当初の目的は達成した。 上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
有効性	
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	令和元年度に予定した、修繕計画は達成出来た。今後においては、老朽箇所を十分把握し、計画的に修繕等を行う必要性がある。
次年度予算への見直し方針	修繕及び設備等の更新計画を十分吟味し、優先度に応じた対応を実施する。
関連部課等との協議状況	修繕及び設備等の更新計画については、適宜担当課と協議を実施している。
関連部課	都市整備課建築係
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
	開園後25年が経過し、建物及び設備等の老朽化が進行している為、適切な施設運営が出来るよう計画的に修繕等を実施する。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 老朽化した設備の修繕を実施する。
	3年度以降の展開方針 老朽化した設備の修繕及び備品の更新を、優先度に応じて計画的に実施する。
部長の確認所見	適切な維持管理・補修に努めること。